

運送業界の健康支援を生きがいに

143 全ト協の実証実験募集をテーマに大阪と東京で両輪会

5月はOCHISにとって、「安全と健康を推進する協議会(両輪会)」の月になります。11日(木)は大阪で、24日(水)は東京で、いずれもトラック総合会館をお借りしての開催です。

■運輸ヘルスケアナビシステムでハイリスクの見える化

メインテーマとなるのが、定期健康診断の有効活用のための手法紹介で、OCHISが構築した運輸業界に特化した「運輸ヘルスケアナビシステム」のお披露目です。

※脳・心臓疾患をはじめとした健康起因事故につながりやすいハイリスク者の可視化と、予防対策を推進するため、定期健康診断の事後措置の徹底を図る支援の一環として構築しました。(両輪会の案内リードより) 私は12年もの間、本紙でト



《全日本トラック協会 SAS 検査受託機関》
NPO 法人 ヘルスケアネットワーク (OCHIS)

副理事長 作本 貞子

「安全と健康を推進する協議会(両輪会)」代表
国土交通省健康起因事故対策協議会委員

TEL : 06-6965-3666

FAX : 06-6965-5261

東京オフィス TEL : 03-3295-1271

E-mail sakumoto@ochis-net.com

HP <http://sas.ochis-net.jp/>

トラック事業者への「健康支援の思い」を綴ってきましたが、このたび、リリースする本システムは最も上位にあります。つまり、長き年月の中で、最もお伝えしなかったメッセージかもしれません。

■システムは全ト協事業として

実は、本システムは全ト協の29年度健康起因事故防止対策事業の一環として、トライアル(実証実験)からスタートします。大げさな言い方ですが、多くの事業者様から頂いた「健診の事後フォローは難しい」というお困りの声に、具体的な解決策の一つとして、しかも全ト協事業としてお示しできることは、私の仕事人生の無上の喜びでもあります。関係者の皆様に心より

お礼申し上げます。

■システムの流れと項目

両輪会では、本システムの概要説明とともに、トライアル事業者40社2000人を募集します。当然ながら、両輪会にご参加いただけても、トラック協会に加入されている事業者様ならエントリーできますので、ぜひOCHISまでお問い合わせください。

本システムの流れは次のようになります。

1. 事業者様からOCHISにお問い合わせ合わせ↓概要の説明
2. 健診データのお預かり(エクスセル、または紙ベース)
3. 運輸ヘルスケアナビシステムによるデータの統一化
4. PW発行の上、CDにて納品
5. 事業者様内で運用↓ハイ

リスク者の見える化

因みに入力項目は、定期健康診断をはじめ、睡眠時無呼吸症候群(SAS)検査、残業時間、軽度認知症(MCI)、事故歴など運輸業界に特化したものになっているため、人事労務はもちろん、点呼時の活用も可能です。(次回は6月12日に掲載)